一日目

開会セレモニー

司会の外池実行委員長から、開講式に先立ち「セミナーは学習だけでなく、交流も一つの目的である。楽しんで学習をしてほしい」と挨拶があった。

二日目

真島委員長のあいさつ

真島委員長から、「特定利用港湾」「24港湾春闘」そのほか「AIターミナル構想」や「世界の港湾労働環境」についても触れられ「魅力ある港湾労働を作るのが皆さんに与えられた使命である」と参加者に対して鼓舞する挨拶があった。

第3講座（ITF東京瀧代表）

ITF東京事務所の瀧勝次代表から、「新しい国際コンテナ戦略港湾政策」について。いかに臨んでいくのかが重要になるとのまとめがされた。

第1講座（玉田書記長）

玉田書記長より、「産別運動と産別協定について、港湾産別運動への結集を訴える講義を受ける。

第2講座（津守教授）

岡山大学の津守貴之教授から、「日本港運協会の現状と全国港湾の対応」について、将来を見据えた提言があった。

講座に関する質疑で、質問などは出なかったが、参加者全員が真剣なまなざしで講義に聞き入っていた。

三日目

第4講座（こくみん共済COOP）

こくみん共済COOPの全国港湾担当、竹内・伊丹さんからこくみん共済の成り立ち、共済制度の仕組み、労働組合と共同の取り組み、必要な保障とは？生活保障設計運動についてなど、「病気や事故にあってからでは遅い。必要最小限の保障を、若く健康なうちから備えましょう」などパワーポイントを使いながら丁寧な提案を受けた。

分科会

第1講座から第3講座までをふまえた「テーマ別分科会（6グループ）」では、参加者各々が熱心に活発な意見を出し合った。

分科会（第2班）

分科会（第1班）

分科会の発表

各講座で受けた感想や意見、労働セミナーの感想などグループ討論を行った結果発表を行う。発表については各班概ね、セミナーに参加して様々なことを知れて勉強になった。今後もこのような場を設けて頂き、産別運動を継続して頂きたい。港湾に新しい人が入ってこない、予定の立てられない環境、定着率の低下など様々な諸課題があり、賃金を含めた労働条件の引き上げなど産別運動への理解を深め、よりよい環境、選ばれる港湾を目指す必要がある。など活発な議論を行っていることが伺え、発表内容はよくまとまっており堂々と発表されていた。

第1班　若山　尚典さん

第2班　高木　昌己さん

分科会（第4班）

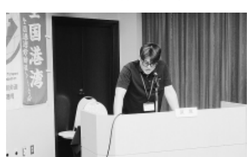
分科会（第3班）

分科会（第6班）

分科会（第5班）

第5班　須藤　修平さん

第3班　坂口　智洋さん



第6班　菊谷　優彰さん

第4班　吉田　重治さん

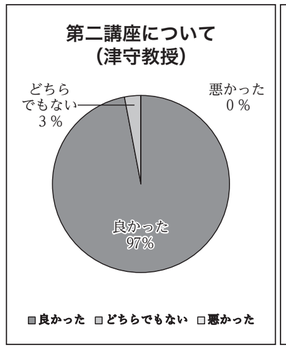
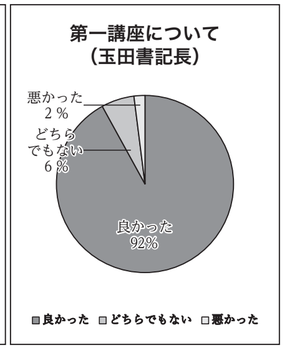
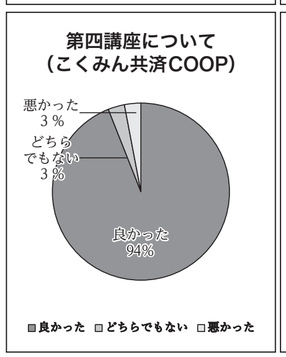
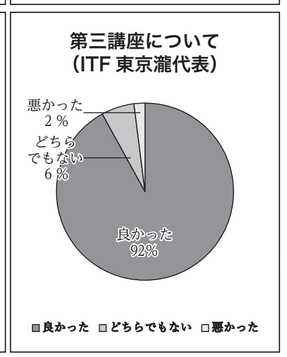
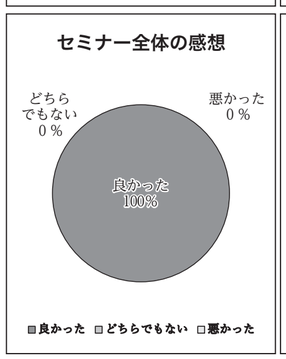
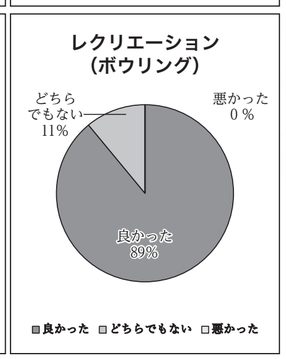
閉会セレモニー

玉田書記長より総評とまとめを頂いた。最後に「団結ガンバロー」で閉幕。

ボウリング大会

中盤にもなると各チームの状況が見え、接戦を繰り広げていだ。スペアの取りこぼしで絶叫したり、ここ一番でストライクを決めガッツポーズもあり、最後にはそれぞれのチームで会話が絶える事なく、非常に良い交流の場であった。

参加者の感想

第17回港湾労働セミナー参加の皆様の感想文を集計し、グラフにまとめてみました。

皆さまの意見や感想を参考に、今後のセミナーの企画・運営につなげていきたいと考えております。